

学生への学習支援体制

1. 授業の学習支援

本学はこども教育学科、単科の短大であり2年間で各種免許資格の取得を目指して、クラス担任、地区アドバイザーを設け教職員が連携し、学校生活・実習や就職指導までの相談、支援にあたっている。また、学生が教員へ学業に関する質問や実習等の相談ができるよう、研究室等に待機して以下のように指導にあたっている。

ア. 音楽

弾きうたいの授業では、学生の習熟度別にグループ分けをし、指導を行っている。又、実習前や試験前など技術取得に不安を抱える学生に対して個別に対応している。

イ. 造形

研究室には造形教室の後方に隣接しており、教室内には画材、材料、道具を常備し、研究室には書籍、資料、工具等を整え、学生からの造形表現に関する相談については実学的、実践的に対応をおこなっている。

ウ. 体育

必要に応じて補講を行うなど、個別に対応を行い補っている。

エ. 言語

保育実習などの際に活用できる保育教材を準備し、学生のニーズに対応した教材の製作・活用法についての個別指導をおこなっている。また、指導案の立案についての相談対応をおこなっている。

オ. 実習

本学では学生の出身地区ごとに地区アドバイザー制を導入し、実習事前指導から実習中の訪問、事後の指導まで、個別に細かく指導できるよう配慮している。

2. 幼児教育研究会の支援

本学は学生一人一人の個性の伸展を図ることを目的とし、幼児教育研究会活動を活発に行っている。また、研究会活動を通して、地域に開かれた短大として、地域のイベント等の支援を行っている。研究会活動では専門知識や技術・技能の修得に留まらず、社会人としての礼節を身に付け、保育者としての自覚・責任を持って行動する力を養っている。

学内行事では「こどもの日を祝うつどい」「こどもフェスティバル」等に取り組んでいる。学内行事以外にも、幼稚園・保育園・施設等の催しや行事、太宰府市との共催である「七夕まつり」にも積極的に参加し公演・支援活動を行っている。また、1

年間の研究成果を「幼児教育研究誌」としてまとめ、幼稚園・保育園・施設等に配布し、幼児教育研究会活動の理解を深めて頂いている。

3. 出席管理

全科目・全授業において出欠を確認、マークシートを用いてコンピュータ管理をしている。地区アドバイザーは、毎月地区ホームルームにて出席状況表を配布し、休みがちな学生に注意喚起を行っている。

4. 学習情報の提供

年度授業開始前に学年毎、オリエンテーションを実施している。

1年生においては、学生生活の基本についての理解とともに、学生相互の親睦教職員との交流等を図り、早期に学業に専念出来るよう留意している。

また、学校生活（授業・行事・伝達事項等）に関わる情報は、学内の掲示板を利用して行っている。緊急時の連絡については学校公式 HP・Facebook に掲示する他、クラス担任、地区アドバイザーから直接連絡を行っている。